

2019. 3. 31

第 7 号

発行 松本市海外都市交流委員会
事務局 松本市丸の内3番7号 松本市都市交流課
TEL:(0263)34-3000 FAX:(0263)34-3493

姉妹提携

60周年

ソルトレークシティを公式訪問



7月22日から30日にユタ州のソルトレークシティを公式訪問しました。2018年は、松本市とソルトレークシティが昭和33年に姉妹都市提携を結び60周年の節目を迎え、両市がこの節目を祝いました。今回の公式訪問団は、市長、市議会議長、ソルトレークシティ姉妹提携委員会会長はじめ委員の皆さん等、総勢21名と節目の年に相応しいものとなりました。



◇往路

日本からソルトレークシティへは、ロサンゼルスを経由し、約12時間のフライトです。ソルトレークシティ国際空港に到着した訪問団は、国際生活スクール（学生向けホームステイプログラム）でお世話になったホストファミリーや交流関係者の皆さんに温かく出迎えていただきました。

◆表敬訪問

23日朝には、ジャッキー・ビスカプスキー市長への表敬訪問を行いました。ビスカプスキー市長は、両市の姉妹都市交流が今後、経済の活性化につながることへの期待をにじませ、今回訪問に参加した経済界関係者と意見を交わしました。

◇60周年記念式典

同日夜には、提携60周年記念式典が大勢の両市関係者が集う中、盛大に開催されました。来賓として、デンバーから出席していただいた近藤首席領事からは、長きに渡る友好交流に対し、お祝いと今後さらなる交流発展に期待するとのお言葉をいただきました。セレモニーでは、少年少女合唱団による美しい歌声の披露や、出席者も参加しての華道のパフォーマンスが行われ、和やかなムードで両市関係者が交流を深めました。

◆開拓者パレード

24日は、アメリカ3大パレードとも目されるパイオニアパレードが開催されました。パレードでは、市長、議長、姉妹提携委員会会長がオープナーに乗り、沿道を埋め尽くさんばかりの観客に、姉妹都市「松本市」をアピールしました。



◇記念植樹

パレード後は、市内ジョーダンパークに隣接した世界平和記念公園の日本庭園で、パトリック・リーリー副市長立ち合いのもと、プラムの木を植樹しました。植樹後に、パトリック・リーリー副市長は、「プラムの枝葉が成長し、実を付けるように、両市の交流が発展していく事を望む」とあいさつしました。

◆滞在最終日

ソルトレーク滞在最終日の25日は、2002年にソルトレークシティ冬季オリンピックが開催された際に会場となったユタ・オリンピックパークを見学したほか、今回訪問団の受け入れにご尽力いただいた関係者に感謝の気持ちこめて、答礼夕食会を開催しました。ビスカプスキー市長にもご出席いただき、これまでの交流の思い出や、ソルトレークシティ滞在中の話に楽しい時が流れ、翌日の出発を前に別れを惜しましました。

次回のソルトレークシティ公式訪問は、姉妹都市提携65周年を迎える2023年に行う予定です。

氏名(敬称略)	
1	ボブ・スプリングマイヤー
2	グエン・スプリングマイヤー
3	ブラッド・レイ
4	ライザ・スプリングマイヤー
5	ウィル・スプリングマイヤー
6	リア・キャンベル
7	ロス・チャンブレス
8	イクエ・チャンブレス
9	シオナ・チャンブレス
10	ティム・チャンブレス
11	キャシー・チャンブレス
12	マイク・シャイク
13	ドミニク・チャンブレス



ソルトレークシティから訪問団が来松



10月13日から19日の日程で、ユタ州のソルトレークシティから民間の交流関係者による総勢13名の訪問団をお迎えしました。今回の中心メンバーのグエン・スプリングマイヤー氏は、毎年学生を対象に行われるホームステイプログラム「国際生活スクール」を献身的に支えてきました。夫のボブ・スプリングマイヤー氏とは、姉妹都市交流が縁となり、40年前に松本市の岡宮神社で結婚式を挙げていて、今回の訪問は、結婚40周年を祝したのもありました。岡宮神社での40周年祝いの神事や浅間温泉のたいまつ祭り、上高地の散策等を楽しみました。



中学生がグリンデルワルトでホームステイ

松本市内の中学生20名が、9月10日から15日の日程で、スイス・ベルン州グリンデルワルト村でのホームステイを体験しました。

◆往路

松本から成田空港までは、バスで約5時間。成田空港からスイスのチューリッヒまでのフライト時間は約12時間と長時間の移動による疲れも見せず皆な元気な様子でした。

◇大使館表敬、グリンデルワルト到着

スイス2日目となる11日は、在スイス日本国大使館を表敬訪問しました。本田悦朗駐スイス日本大使に、日本とスイスの関係や外交官の仕事についてお話をさせていただきました。その後、世界遺産に指定されたベルン旧市街を視察し、グリンデルワルト村へ向かいました。村ではアンデレック村長をはじめ、ホストファミリーの皆さんから温かい歓迎を受けました。



◆学校訪問

3日目の12日は、現地の学校「グラーベン校」を訪問しました。学校に隣接する公民館で、松本市の紹介を英語で行い、「松本ぼんぼん」を一緒に踊りました。その後、各教室に分かれ、日本語会話、ラクレット作り、スイス相撲「シュビンゲン」、ヨーデルの合唱、世界地理の授業に参加し、交流を深めました。

4日目となる13日は、ユングフラウヨッホに登山鉄道で登りました。ユングフラウヨッホ駅は、ヨーロッパ



で一番標高が高い場所にある駅です。天気も素晴らしく展望台からは雄大なアレッチ氷河やアルプスの山々を眺める事ができました。

◇さよなら夕食会

ユングフラウから下山し、夜には、お世話になったホストファミリーや村の皆さんとの「さよなら夕食会」が行われ、生徒たちは、折り紙や空手、書道、けん玉、あやとりなどの特技を披露しました。

◆帰国の日

グリンデルワルト村での充実した時間は瞬く間に過ぎ、お別れの朝がやってきました。ホストファミリーに見送られ、生徒たちからは「まだ帰りたくない」、「短すぎる」そんな囁きが聞かれました。各々ホームステイでの経験や、楽しかった思い出を胸に秘めて、帰国の途につきました。



なお、2019年5月には、グリンデルワルト村の中学生を松本にお迎えする予定です。



松本市海外都市交流委員会

検索



チェコの城と宮殿写真展

駐日チェコ大使館が、松本市博物館を会場に、「チェコの城と宮殿」写真展を開催しました。チェコ共和国には、世界遺産が12か所もあり、リトミシュル城など数多くの城を有しています。チェコ大使館では、チェコ共和国の事を知ってもらおうと国宝松本城がある松本市や同じく国宝の松江城がある松江市でも写真展を開催しています。本会では、開幕式に出席するため松本を訪れたトマーシュ・ドゥブ大使を、チェコ共和国リトミシュル市との交流を独自に

進めている「スメタナ・リトミシュル会」と連携して歓迎会を開催しました。写真展は6月16日から7月16日の日程で開催され、延べ16,000人が来館しました。写真展に訪れた皆さんは、チェコの美しい城に魅了されるとともに日本の城との違いなどを興味深く、観察していました。



駐日中国大使館写真展を開催

松本市、松本市海外都市交流委員会は、松本日中友好協会と連携し、8月13日から15日の3日間の日程で松本市美術館を会場に駐日中国大使館の外交官が撮影した日本の風景写真展を開催しました。写真展には、3日間で700名余りが訪れ、普段私たちが忘れがちな日本の魅力を改めて確認していました。開会式に出席した駐日中国大使館の周海泓（しゅうかいおう）公使参事官は、写真を通じて日中両国民の相互理解が一層深まれば嬉しいと述べました。



日中友好都市中学生卓球交流大会

8月19日に、長野市で、日中友好都市中学生卓球交流大会が開催されました。この大会は、1998年に県と河北省の友好提携15周年を記念して始まり、長野市で開催された今回の大会には河北省並びに友好提携を結んでいる中国各都市の中学生卓球選手らが参加しました。



松本市と廊坊市の合同チームは、言葉や文化の違いを超えて、息の合ったプレーを見せていました。



友好都市 廊坊市を親善訪問

本会会員の松本日中友好協会が主体となり、松本市、松本市海外都市交流委員会が連携して、9月5日から8日の日程で廊坊市を民間親善訪問しました。松本日中友好協会の相澤孝夫会長を団長に15名からなる訪中団は、廊坊市の陳平（チンペイ）市長を表敬したほか、相澤病院が姉妹提携を結ぶ廊坊市人民病院の視察を行いました。廊坊市の陳平市長は、表敬訪問のあいさつで、「松本日中友好協会の皆さんによる民間交流が活発に行われており、松本市と廊坊市の友好都市交流の大きな推進力になっていることは、大変喜ばしい」と述べました。一行は翌日、北京市へ移動し、中国国際放送局、孔子学院、中国人民対外友好協会を訪問しました。



台湾高雄市から教育訪問団

8月17日から19日に、「健康・福祉・教育分野の交流に関する覚書」に基づき交流を進めている台湾高雄市の政府関係者をはじめ、学生等で構成する音楽教育訪問団72名が、「2018セイジ・オザワ松本フェスティバル」に参加するため来松しました。一行は、鎌田中学校を訪れ、合同演奏の練習を行ったほか、音楽文化ホールで開催された若手金管奏者の発表会の鑑賞、OMF 歓迎吹奏楽パレードに参加しました。台湾高雄市からの教育訪問団は、2015年に交流の覚書を交わして以来4回目の来松となりました。





フィリピン西ネグロス州知事が来松

本会会員のオイスカ長野県支部は、フィリピン西ネグロス州バゴ市において、養蚕・製糸業の普及支援を行っています。同会では昨年の2月に現地を視察訪問、支援・交流を進めています。今回、深まる交流に応え、西ネグロス州のアルフレッド・G・マラニョン、Jr. 知事が松本市を訪れ、坪田副市長を表敬しました。マラニョン知事は、オイスカの支援に感謝を述べたほか、絹糸がつなぐ両市の交流が今後一層強くなる事への期待をにじませました。



ネパール講座を開催

8月28日に、カトマンズ部会では、2019年に姉妹都市提携30周年を迎えるカトマンズ市の事を多くの方に知っていただく機会としてカトマンズ講座を開催しました。講座では、スライドを交えて、ネパールの歴史や2015年に発生したネパール地震で被災した文化財や武道館の状況についての説明をしたほか、文化の紹介としてネパールのお茶とお菓子を楽しみながら、松本市在住のネパール人、カトリさんの協力によりネパール語の簡単なあいさつのレッスンなどを行いました。



カトマンズ市武道館の修復工事が完了



2015年のネパール大地震で被災したカトマンズ市武道館の修復工事について、カトマンズ市第16区のムクンダ・リサル区長から、2018年10月に修復工事が完了したとの報告を受けました。2002年に松本市民の募金と外務省の資金援助を受けて建設された武道館は、カトマンズ市第16区のナヤ・バザー地区に所在し、2015年4月25日に発生したネパール地震で天井部分など一部が損壊していました。修復工事完了を受けて、柔道選手らのトレーニングが始まるなど、その活用が再開しています。



英語でクロスワード

D	A	N	K	E		1	K	A	B	C		M		
	M								2	G	D	A		
N	E	P	A	L	3	S				E		T		
	R			4	K			H	S		5	N	G	S
	I	6	U				H	F		S			U	
	C						E	R		M			M	
	A						L			I			O	
7	C						L			E			L	T
J	A	P	A	N			D	U						O
8	J										9	B		

[Down たて]

1. 今年提携30周年を迎える姉妹都市は、K□□H□□□□U
2. G□□□□□WALD、アイガーの麓の村です。
3. 昨年提携60周年を迎えたのは、S□□□□□□□
5. ネパールの挨拶こんにちは、N□□□□□□□
6. ソルトレークシティは、U□□□州にあります。

[Across よこ]

4. 台湾の高雄市は、英語で書くと、K□□□S□□□G
7. 友好都市廊坊市のある国は、C□□□□
8. ソルトレークの市長は、J□□□□□□・BISKUPSKI
9. グリンデルワルトがある州は？B□□□州

会員募集中!

松本市海外都市交流委員会では、新たに入会を希望される方を募集しています。既に国際交流をされている個人・団体はもちろん、国際交流に関心をお持ちの方はどなたでも歓迎します。年会費は、個人2千円、団体1万円。入会のお申し込みは事務局（松本市広報国際交流課 ☎34-3220）までお願いします。

会費納入のお願い

海外都市交流委員会は、会員の皆さんの会費で運営されています。今年度の会費のお支払いがお済みでない方は、お早めにお問い合わせください。なお、お込みの場合は、振込人名をご記入いただきますようお願いいたします。

(振込先)
八十二銀行
松本市役所出張所
(普通)103120
松本市海外都市交流委員会

松本留學生
応援ファミリーの会
会員募集中!
お問合せは、事務局
(松本市広報国際交流課
☎34-3220)まで。